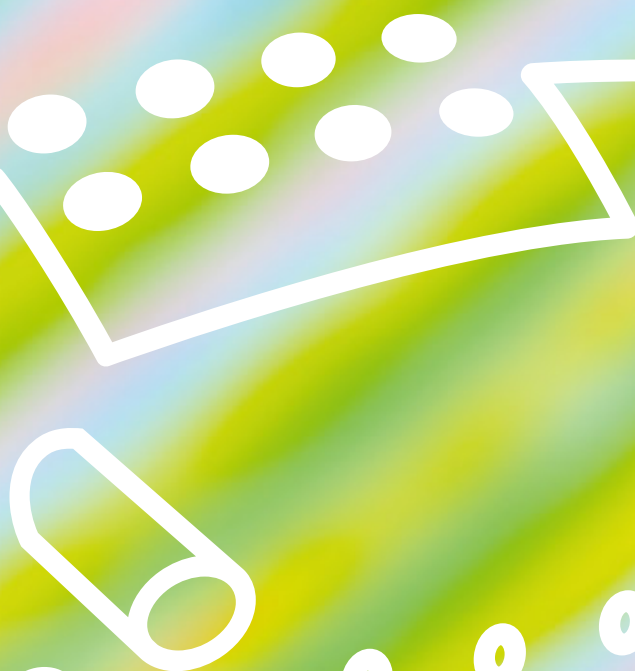


札幌ドーム REPORT 2019

MAKE
THE
NEW
SAPPORO
DOME



チャレンジが、新たな時代を創る。

季節を告げる鳥の声や鮮やかな四季の表情が私たちの心を躍らせてくれるように、

札幌ドームは、地域の暮らしに寄り添いながら、

皆さまに夢と感動をお届けできる身近な存在でありたいと願っています。

ここで過ごすひとときは、明日へのエネルギー。

ここで生まれる笑顔は、未来への希望。

一つひとつのチャレンジがお客様の喜びと新たな時代を創ることを信じて、

私たちは、これからも歩みを続けます。

【編集方針】

- 昨年まで本レポートは「札幌ドームCSRレポート」としてありましたが、本年は「札幌ドームレポート」というタイトルに変更し発行いたします。
- 引き続き当社のCSR活動についての報告はいたしますが、SDGsの視点も含め、持続可能な社会の実現に向けた当社の考え方や取り組みを紹介したいと考えています。本レポートで掲載しきれなかった事業・データ等につきましては、当社ウェブサイトで紹介しています。
- 本レポートは、当社とすべてのお客さま（ステークホルダー）をつなぐ重要なコミュニケーションツールとして位置づけています。本レポートについてのご意見や感想をお気軽にお寄せください。

札幌ドーム ウェブサイト
www.sapporo-dome.co.jp

【報告対象期間】

2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）の活動を対象としておりますが、当社の事業活動をご理解いただくために、札幌ドーム開業からの取り組みについても紹介しています。

【発行】

2019年6月
※2008年から年次報告として毎年発行しています。

CONTENTS

トップメッセージ……………03

札幌ドームの基本姿勢……………05

札幌ドームのSDGs……………07

数字で見る札幌ドーム……………11

新しい札幌ドームへ

営業部……………13

施設部……………14

商業部……………15

総務部……………16

札幌ドームのCSR活動

地域を想って……………17

人を想って……………21

環境を想って……………25

環境データ……………29

施設改修……………30

資料……………31

第三者意見……………34





2023年以降を見すえ、 検討を進めています。

当社は、札幌ドームの管理運営を担う企業として1998年に設立され、2001年の札幌ドーム開業以来、この18年間で累計4,800万人を超えるお客さまをお迎えしてまいりました。日頃から札幌ドームを支えてくださっている多くの皆さまに、心より感謝を申し上げます。

さて、時代の移り変わりとともに、札幌ドームを取り巻く環境は大きく変化しつつあります。2016年12月、札幌ドームの最大の利用者であります北海道日本ハムファイターズさまが新球場建設構想を公表し、当社としても、その動向を注視してまいりましたが、2018年11月、北広島

市における2023年3月開業に向けた新球場建設を正式に発表されました。これにより、今後、当社の経営環境は大きく変わらざるを得ない見通しとなりました。

こうした状況を受けて本格的に検討を始めたのが、2023年以降の札幌ドームの活用策についてです。

今後どのような方で経営安定化を図るかを話し合うために、札幌市との間でプロジェクトチームを立ち上げ、社内でもワーキンググループでの議論やブレインストーミングによるアイデア出しを進めてきました。さらに、中期経営計画策定研修を開催するなど、社員の全員参加によって、札幌ドームの今後あるべき姿について積極的な議論を深めてきました。

自由な発想とチームワークで 新しい札幌ドームを創っていくために。 第二の創成期、心をひとつにして取り組みます。

目標を共有することにより、 連帯感が強くなりました。

札幌ドームのいまと未来について若手もベテランも一緒になって話し合う中で、より強固な連帯感が生まれてきたように思います。

アイデア出しのブレインストーミングでは、全社員が複数グループに分かれて自由な発想で意見を出してもらいましたが、それによって、一人ひとりが能動的に取り組まなければいけないという当事者意識がさらに高くなったと思います。部署の垣根を越えて議論することによって、普段とは違う視点で札幌ドームの新たな可能性を探

っていかうと、皆がポジティブな発想で意見を出してくれました。

そうした取り組みを重ねるうちに、最近では、開業当初から在籍するベテラン社員は「自分たちの力の見せどころだ」と奮起し、若い世代の社員も「自分たちがやるんだ」という意気込みを持ってくれています。それらがうまく融合して、皆同じ方向を目指して歩み始めたなという実感があります。以前に比べて組織が活性化してきたのは、とても良いことだと思います。

また、私は毎年1回、全社員約70人を対象に個人面談を行っています。1対1の面談だからこそ、普段話せないようなことも話してくれますし、それぞれの想いや考え方

を私自身がより深く理解できるようになります。全員の面談を終えるまでに1カ月以上はかかりますが、やはりマネジメントには欠かせないものですから、私にとって大事な仕事だと思っています。

特に現在のように、全員が心をひとつにして進んでいかなければならない時期に、意思疎通のしやすい環境づくりは非常に重要です。私一人が旗を振ったとしても、現場を預かる社員が納得して動いてくれなければ、組織としてチームワークを発揮できないからです。

私自身、札幌ドームという会社の持ち味は、明るくて自由な社風だと思っています。この尊い文化は、これから新たなチャレンジを進めるうえで、きっと大きな推進力になるだろうと信じています。

新中期経営計画をもとに チャレンジを続けていきます。

当社では、開業20周年となる2021年に向けた長期ビジョンとして「新たな価値と感動を創造し続ける企業へ」というキーコンセプトのもと、具体的な数値目標を掲げ、2013年から取り組みを進めてきました。

この長期ビジョンを実現するための最終ステップと位置づける新3カ年計画として、このたび策定したのが「中期経営計画2021」です。全社員で議論を重ねてきたことが、計画に盛り込まれています。

基本方針は、2023年以降の経営環境の変化に的確に



対応できるよう、「Make the New Sapporo Dome!」としました。札幌ドームにとってはまさしく開業以来の“第二の創成期”を社員一丸となって切り拓いていくため、総力を結集して事業活動に取り組んでいくつもりです。

今後の札幌ドームを考えると、2023年以降も黒字経営を維持できるような施策が必要となります。全社員が貸館業のプロとして、自信と自覚を持って仕事することが大切です。一人ひとりが札幌ドームの社員であることに誇りを持ち、自由な発想でチャレンジしてほしいと思います。

また、中期経営計画にSDG sの視点を取り入れるため、外部有識者を招いてSDG sに関するミーティングを開催し、私自身も議論に参加しました。

その結果導き出された当社にとって関わりの深いSDG sの目標は、札幌ドームが当初から「経営理念」に基づき取り組んできたことと一致します。その点では、札幌ドームのもともとの考え方がSDG s的であったといえるのではないのでしょうか。

当社の開業当初からのベテラン社員たちは、何もなかったところから非常に苦勞して営業活動を重ね、プロ野球のフランチャイズチームを誘致するなど札幌ドームの礎を築いてくれました。このバイタリティーこそが当社の財産であり、第二の創成期においても大きな推進力になると考えています。

今後も、札幌ドームが市民道民の皆さまに末永く愛される施設であり続けるために、私たちは全力でチャレンジを続けてまいります。

代表取締役社長 山川 宏行

札幌ドームの基本姿勢

株式会社札幌ドームは、札幌市から55%の出資を受け、1998年に設立されました。
私たちは、スポーツの普及振興、市民文化の向上、地域経済の活性化に寄与できるよう、
2001年の開業以来、常にお客さまを想い、未来を見つめ、努力を続けています。

【経営理念】

Our Mission, Value, Vision

私たちはエンターテインメントビジネスを通して、
常に最高のホスピタリティを追求し、
すべてのお客さまの夢と感動を実現する
ステージを創造します

- エンターテインメントビジネス: すべてのお客さまをもてなし、楽しんでいただくことを通して、ともに喜びを分かち合えるビジネス。
- ホスピタリティ: 思いやり・優しさの気持ちをもって、人と人が心を通じ合わせ、楽しさ・喜び・感動を共有すること。
- ステージ: 空間としての舞台や劇場のほか、旅程・段階・ステップの意味も込めています。

【行動指針】

Guiding Principles

— すべてはお客さまのために —

- 1 お客さまと意思を一つにし、喜びと感動を共有することで、ホスピタリティあふれるサービスを提供します
- 2 お客さまの安全を最優先に考え、常に安心して楽しんでいただける環境をつくります
- 3 お客さまの声に真摯に耳を傾け、サービス向上に努めるとともに、公平性を確保し、誠実で良識ある行動を心がけます
- 4 事業活動に伴う環境負荷を正しく把握し、札幌ドーム「環境方針」の実現に向けて更なる取り組みを進めます
- 5 札幌ドームならではの社会貢献活動に取り組み、地域の発展と豊かさの実現に寄与します
- 6 社会の一員として、高い倫理観をもって法令・規則等を遵守し、反社会的勢力には毅然として対応します
- 7 公共性を意識した健全な事業活動を推進し、公正かつ適正な取引を行います
- 8 企業情報を公正に開示して説明責任を果たすとともに、個人情報等の各種情報を適正に管理します
- 9 多様な人材と個性を尊重するとともに、規律と協調を重んじ、安全で働きやすい健康的な職場をつくります
- 10 高い理想を掲げ、責任と誇りと思いやりの心をもって行動し、更なる成長をめざします

私たち一人ひとりが札幌ドームです

【開業20周年に向けて、きたい姿】

長期ビジョン「SAPPORO DOME VISION 2021 (SV-21)」

新たな価値と感動を創造し続ける企業へ

社員一人ひとりが成長し続けることで、
お客さまにとっての新たな価値と感動を創造し続け、
市民道民の皆さまに喜ばれ、
地域社会から信頼される企業を目指す

中期経営計画 2021

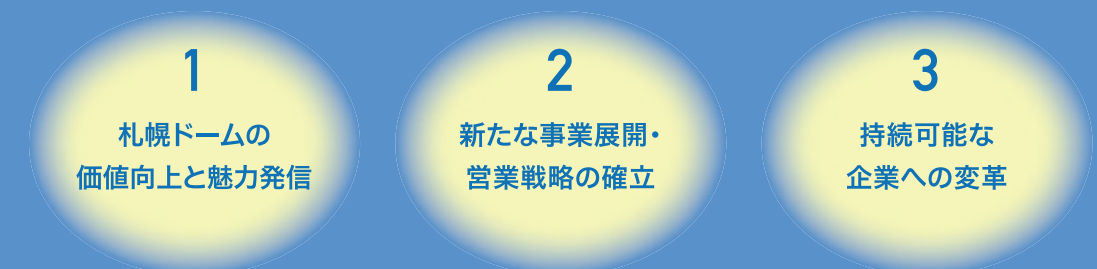
●基本方針

MAKE THE NEW SAPPORO DOME !

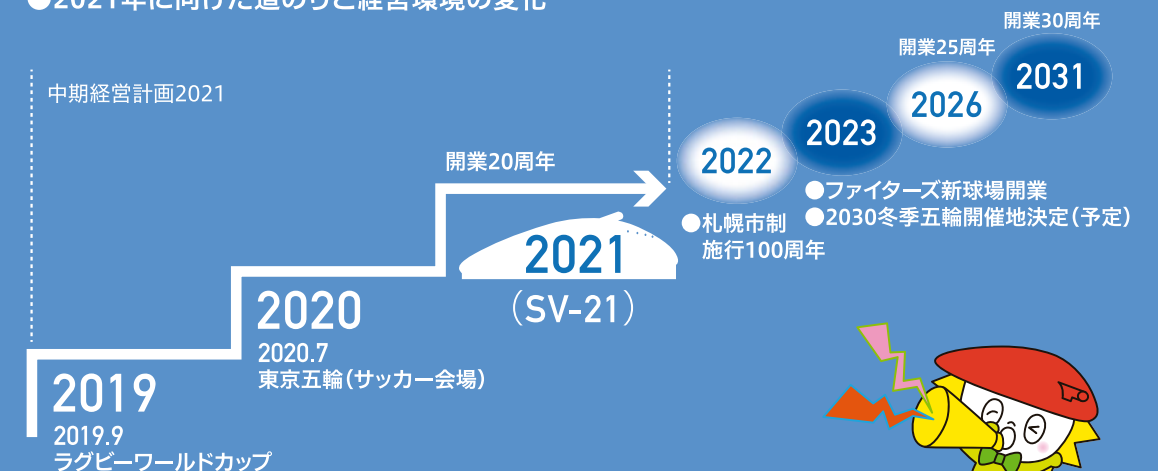
— 第二の創成期 —

新しい札幌ドーム、新しい仕事を創り出す

●基本方針を実現するための3つの基本戦略



●2021年に向けた道のりと経営環境の変化



2016 © SAPPORO DOME

[1] SDGsを意識した事業活動

2015年、国連において採択された「SDGs(Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)」これは、深刻化する環境課題など17の目標と169のターゲットに全世界が取り組むことによって、より良い国際社会の実現を目指すものです。当社も社会の一員として、SDGsを意識した事業活動を進めており、「中期経営計画2021」における主な取り組みの一つに「SDGsを活用した企業価値向上」を掲げています。札幌ドームは環境にやさしい施設として、これからも地域、そして地球を想いながら、事業活動を進めていきます。



[2] SDGsワークショップ〈2018年11月21日〉

各部署から中堅社員12名が札幌ドーム内会議室に集まり、「これからの札幌ドームにとって、SDGsの目標の中で特に何が重要か」を話し合うワークショップを行いました。ファシリテーターとして迎えた凸版印刷株式会社の今津秀紀氏から、国内外の現況についての情報提供もあり、参加者は広い視野から活発に意見を出し合いました。

グループワーク1

参加者はそれぞれ、あらかじめ自社の活動について整理したシートを持参しました。12名がA・B・Cの3グループ、各4名に分かれて1回目のグループワークを実施。これからの札幌ドームにとって何が重要か、各自が自身の業務から感じることを中心に発言し、SDGsの目標の中で優先順位が高いものを、グループとしてピックアップし発表を行いました。AグループとCグループは、同じく目標3、7、11、12、17をあげ、Bグループは3、4、

12、15、17をあげており、3グループに共通した、優先順位が高い目標は3、12、17となりました。

このグループワーク1の後、ファシリテーターの今津氏から「国連はオリンピックなどのメガスポーツにおいて、食材や木材等の調達に、社会や環境への配慮を求めている」「自分たちのみではなく、サプライチェーン全体で考えるのが、グローバルな考え方として浸透している」といった現況が紹介され、参加者はより広い考え方をするための参考としました。



A・B・Cの3グループに分かれて討議



グループそれぞれ、討議結果を発表

グループワーク2

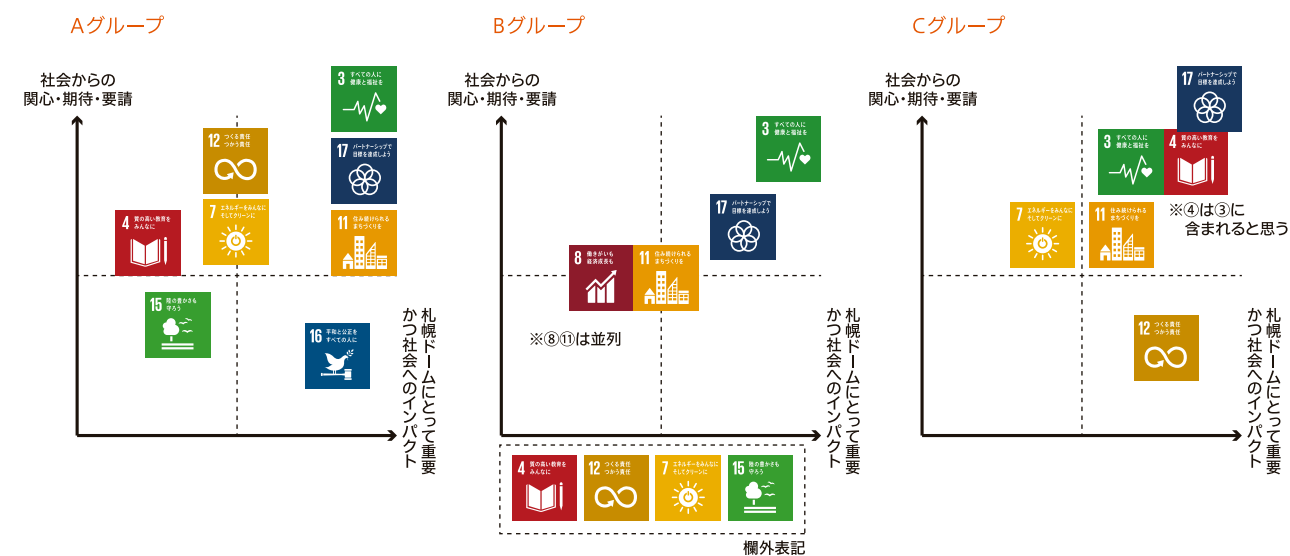
2回目のグループワークでは当社の「経営理念」「事業活動」と「SDGs・グローバルの流れ・サプライチェーン・バリューチェーン」の3つの観点から、2030～2050年に向けて重要な目標を考えました。グループワーク1で選んだ目標の入れ替えも可とし、「社会からの関心・期待・要請」を縦軸とし、「札幌ドームにとって重要かつ社会へのインパクト」を横軸としたマトリックスに目標を落とし込む作業を行い、各グループの結論は下記のようにになりました。

3グループが共通して座標の右上に位置させた3つの目標は、3「すべての人に健康と福祉を」、11「住み続けられるまちづくりを」、17「パートナーシップで目標を達成しよう」で、これらが、札幌ドームがこれから強化していくポイントと考えられました。

グループワーク1で選んだ目標をもとに重要度を再討議



各グループとも全員が活発に発言し、目標の重要度を決定



まとめ

グループワーク2での各グループの発表終了後、3グループの意見を集約して、「札幌ドームにとって重要な目標」を整理しました。結論として、SDGsの目標の中で特に札幌ドームに関連するものは3、11、17と考えました。また、加えて3とセットで4「質の高い教育をみんなに」、さらには当社のこれまでの環境への取り組みを2番目に重要な目標として位置づけ、7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、12「つくる責任 つかう責任」、15「陸の豊かさを守ろう」も重要であるとなりました。



〔3〕SDGs役員ミーティング〈2019年1月23日〉

より広い社会の課題を視野に入れて新たな中期経営計画を策定するため、当社役員がミーティングを開催。外部有識者としてSDGsジャパンの代表理事である黒田かをり氏を迎え、当社が目指すべき姿を考えました。2018年11月に行われた「SDGsワークショップ」に引き続き、ファシリテーターとして今津秀紀氏をお迎えし、議論を進めました。

（※役職名は開催時のものを掲載しています。）



外部有識者と当社役員らが2時間にわたって話し合いました

新しい札幌ドームをつくろう。

今津 まず、今後強化すべき点をお話ください。

山川 2023年に北海道日本ハムファイターズが本拠地を北広島市の新球場に移します。これを受け、社員には「新しい札幌ドームをつくろう」と話しています。

手島 札幌ドーム開業当初、ファイターズはいなかったもので、最初に戻ったんだという気持ちで「ピンチはチャンス」ととらえ、この機会にパワーアップしたい。

吉田 当社の本業は貸館事業ですが、たとえば、広い敷地を有効活用するなどして、イベントのない日の収入も上げたいですね。

山川 コンサートに関しては、これまでの4万人規模に限らず、2万人規模でも開催できるよう検討しています。

吉田 ホヴァリングサッカースタジアムは世界で一つしかないで、今後の国際大会などを通して、世界にもっとアピールしていきたい。

今津 次にSDGsとスポーツの関連について、黒田さんから説明していただこうと思います。



黒田 かをり氏
（一般財団法人CSOネットワーク 事務局長・理事／一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク[SDGsジャパン]代表理事）

黒田 国連の『持続可能な開発に関する2030アジェンダ』の中に「スポーツもまた持続可能な開発にとって重要な鍵となるものである」と書かれています。東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関しては、持続可能性に配慮した運営計画が作られ、SDGsのゴールを明確化し、ビジネスと人権の指導原則を遵守すると書かれています。スポーツイベントを通じて多くの人たちにサステナビリティを知っていただく機会になると良いと思います。

今津 SDGsは基盤としておさえなければいけないし、おさえることで「環境、人権、労働、パートナーシップ」にしっかり取り組んでいる札幌ドームです」と堂々とイベントも誘致でき、経営を強化していけますよね。

山川 2万人規模のコンサート開催を実現させるためには、まさにパートナーシップが重要になります。建設・施工会社やプロモーターの方などにも相談して、検討を進めています。

今津 社員はわずか73人で、取引先が約500社あるそうですね。その取引先と一緒にSDGsへの取り組みを進めなければいけませんね。

手島 SDGsという1つのツールを使って皆で幸せになろうとするのは良い取り組みだと感じます。取引先の得手をつなげばもっといいものが生まれるかもしれない。

今津 パートナーを持ち上げていくのにSDGsは掛け声として最適ですね。

山川 パートナーという言い方は良いですね。発注する側と受注する側とに上下がなく、対等になります。やはり、共存共栄していくことが大切だと思います。

理想は羊ヶ丘スポーツパーク。

今津 今後のありたい姿を長期目線で語ってください。

山川 理想は「羊ヶ丘スポーツパーク」。札幌ドームを拠点にして、いろいろなスポーツができる施設が集まると、この地域がグンとひらけていくと思います。

吉田 たとえば、ナショナル・トレーニング・センターの冬季版のような施設があると理想的ですね。

手島 札幌ドームの周辺にスポーツパークがあって、ウィンタースポーツのメッカになる。札幌は過去にノルディックスキー大会も冬季アジア大会も開催しており、おもてなしも雪も評価されている。ますます世界から人が集まってくる魅力ある施設にできればと思います。

黒田 ワクワクしますね、スポーツパーク。札幌のブランド力がますます高まり、皆が行きたくなるのかなと思います。将来は、その流れがもっと強くなるのではないのでしょうか。

今津 最後に、社員にはどう成長してほしいでしょうか？

山川 将来のことは若手が考えて意見を出すかたちをつくっていききたい。実際に考えて行動していけば、成功体験につながっていくでしょう。

吉田 この施設は夢を与える施設です。スポーツパークという理想はありますが、スポーツだけでなく、いろいろなジャンルのことを考えてほしい。他のドームではまだやっていないことをやっていきたいですね。

手島 社長の今年の漢字は「動」です。社員も失敗を恐れず、自由に発想し、「なんでもできる」と思って動いてほしいですね。

黒田 札幌ドーム単独ではなく、羊ヶ丘という地域全体の活性化をすでに考えておられることが素晴らしいと思いました。ぜひSDGsという考え方を浸透させながら、ますます発展していただけたらと思います。

山川 SDGsの視点を持って、子どもたちの未来を考えながら、札幌ドームを運営していきます。

ファシリテーター
今津 秀紀
（凸版印刷株式会社／
企業と社会フォーラム学会
プログラム委員）



〔4〕当社と関わりの深いSDGsとマテリアリティ



2018年11月の「SDGsワークショップ」と2019年1月の「SDGs役員ミーティング」とで話し合われた結果をふまえ、『中期経営計画2021』において「当社にとって関わりの深いSDGsとマテリアリティ（中長期視点での重要課題）」として、左図のように整理しました。今後はこれらのマテリアリティを念頭に置き、次の10年においても札幌ドームが市民の皆さまに末永く愛され、また、当社の事業を通じて社会課題の解決や地域社会の発展に貢献できるよう、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを真摯に進めていきます。

数字で見る札幌ドーム

札幌ドームの今が見えてくる数字を紹介します。

多い？ 少ない？

●年間来場者数(2018年度)

累計来場者数は
4,800万人を突破！

約 **280** 万人

内訳は、イベント来場268万人、一般市民利用(草野球・サッカー練習場・トレーニングルームなど)5.8万人、観光利用3.1万人、その他(キッズパーク・諸室利用など)2.4万人です。

●年間イベント利用日数(2018年度)

125 日

3日に1度は
イベントを開催！

プロ野球62日、プロサッカー13日、ラグビーテストマッチ1日、アマチュアスポーツ18日、コンサート9日など。札幌ドーム主催・共催イベントも11日間開催しました。

●年間稼働率(2018年度)

64.1 %

イベント利用125日、一般市民利用12日、設営撤去47日、練習日19日、場面転換31日、合計234日稼働しました。

●コンサート開催アーティスト数 (開業2001年度～2018年度)

累計 **31** 組

コンサート
公演日数は
累計120日

公演回数1位は嵐で累計29日、2位はSMAPで累計18日。2019年2月には星野源さんが札幌ドームで初めてコンサートを開催。過去にはローリング・ストーンズ、エアロスミスといった海外アーティストも登場しています。

●来場者用トイレの数 (2019年6月現在/個室数)

361 室

日本の
5大ドームの
中では3位

通常は、男性用85室、女性用250室、多目的25室、託児室用1室ですが、コンサート開催時などには、男性用の一部を女性用に、あるいはその逆に転用することもあります。今後もお客さまに快適にご利用いただけるよう、さまざまな工夫をしています。

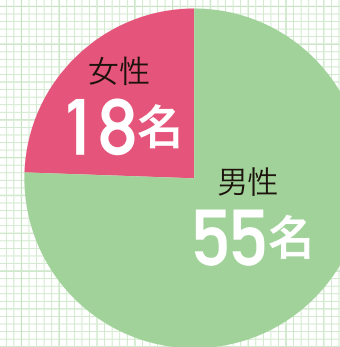
●札幌ドームメンバーズクラブ会員数(2019年3月現在)

15,658 人

会員になると
特典いっぱい！

会員特典は、①イベントによりチケットの先行入手や割引購入が可能。②前売り駐車券[一般料金2,500円]が2,000円に。③グッズショップ「グッズ☆ジャム」にてコンサドーレやファイターズの公式グッズが5%OFF、札幌ドームオリジナルグッズは10%OFF。④会報紙「DOME PRESS」の発行。⑤会員限定イベントなどに参加のチャンス。その他、いろいろな特典があります！

●社員数(2019年6月現在)



73 名

男性の割合が多いですが、男女の壁なく和気あいあいと仕事に邁進しています。平均年齢は40.8歳。若手も自由に発言しながら、皆で「新しい札幌ドーム」に向かっていきます。

●有給休暇取得率(2018年度)

41.5 %

高めるように
努力中

仕事とプライベート、両方の充実を目指し、各部署でON/OFFメリハリのある働き方を心がけています。5日以上の連続休暇の取得も推奨されており、政府の年次有給休暇取得率目標70%に近づけるよう努力しているところです。

●施設改修工事等の総額(2018年度)

約 **7.7** 億円

もっと便利に快適に！

お客さまのご要望にお応えし、屋外エスカレーターを設置したほか、野球用人工芝の更新など総額約7.7億円実施しました。このほか、札幌市によるアリーナ照明のLED化などの改修も行われました。

●一般廃棄物のリサイクル率(2018年度)

54.2 %

目標は2021年まで
に60%達成

リサイクルポスト(分別ごみ箱)を設置して、お客さまに分別回収にご協力いただいているほか、芝ごみのリサイクルなども行い、廃棄物を削減しています。「環境にやさしい施設」として、さらにリサイクル率を高めていきます。

●チャームコロンの

ぬいぐるみキーチェーンの重さ

20.0 g

札幌ドームのみの
限定販売

札幌ドームのマスコットキャラクター「チャームコロンのぬいぐるみキーチェーンが、2019年2月から、グッズショップ「グッズ☆ジャム」で販売されています。価格は900円(税別)。頭が札幌ドームの形になっていて、瞳はパッチリ、見れば見るほど好きになってしまいそうな表情です。バッグに付けても気にならない重さですから、来場記念にもお土産にも自信をもっておすすめします。



貸館業のプロとして、 しっかりサポート。

主催者や来場者の皆さまに
札幌ドームを気持ち良く使っていただけるように。
営業部では、ホスピタリティを第一に
イベントサポートを行っています。

営業部 営業一課長
江良 晋 Era Susumu
2002年入社

入社した年に2002FIFAワールドカップ大会を経験。大きな財産になっています

サッカーの集客支援で チームをサポート。

営業一課の主な業務は、サッカー、コンサート、コンベンション等の主催者対応と運営サポートなどです。

そのなかでも、フランチャイズチームの一つである北海道コンサドーレ札幌さまは2018年、J1リーグ4位というクラブ史上最高記録で大きく躍進しました。私たちも集客に貢献しようと、夏にテラスイベントを企画・実施するなどして盛り上げました。

今後は、良質な練習・試合環境を提供していくことに加え、タイ出身選手などの活躍でアジアから観戦に訪れるお客さまも増えていることから、札幌市のインバウンド施策とも連携しながら、効果的な告知展開を進めていきたいと考えています。



今後は、札幌ドームをコンパクトに
使っていただける
ような貸館モード
も検討していきたい
です

信頼関係を築くコミュニケーションを。

コンサートやコンベンションについては、主催者や来場者の皆さまに気持ち良く使っていただくためのサポートを第一に考えています。貸館業のプロに徹し、過密スケジュールでも計画・管理をきっちりと進めていかなくはなりません。

また、運営サポートでは、非常時に備えた対応も重要です。地震などの自然災害を含め、イベント中に非常事態が起き得ることを想定して、防災・安全計画について主催者さまと事前に話し合っています。今後も密なコミュニケーションを心がけ、主催者さまとの信頼関係をしっかりと築いていきたいと思っています。

東京五輪に向け ホスピタリティーを発揮。

札幌ドームは2020年東京オリンピックのサッカー競技会場の一つになっており、当課が中心となって関係機関との調整に当たっています。

国際大会の運営に携わることができるのは、私たち札幌ドームの社員にとって大きな励みです。東京オリンピックを成功させることが札幌ドームのPRにつながり、札幌、そして日本の存在感を発信することにつながると考えています。ホスピタリティーを発揮して、充実した受け入れ体制をつくるために社員一丸となって取り組んでいます。

正義感とお客さま目線で “あたりまえ”を変えていきます。

安全・安心を基本としながら、
より快適で魅力ある札幌ドームへ。
施設部では、もっとたくさんのお客さまに愛されるよう、
毎年、施設の改修に取り組んでいます。

施設部 設備課 主任
鈴木 宏和 Suzuki Hirokazu
2010年入社

2018年9月の地震の際は、停電中の自宅に家族を残し、職場に駆けつけてしまいました

照明と人工芝が新しくなりました。

札幌ドームではアリーナ照明がLEDに変わり、光の質も省エネ性能も向上しました。まず2017年度にサッカー用468台と客席・広告用68台をLEDに交換。2018年度は野球用586台、空間照明用38台を交換しました。パッと点灯・消灯できるLED照明によって、試合前のセレモニーなどでは演出の幅が広がりました。

野球用の人工芝も新しくなりました。芝の継ぎ目がグラブの邪魔にならないよう、割り付けにすごく工夫をしています。また、札幌ドームでは選手要望をふまえ、毛が長くふわふわした感触のロングパイル人工芝と比較し踏ん張りやすく球がイレギュラーしづらいショートパイル人工芝を採用しています。

“階段問題”を少しずつ解決中。

新しい中期経営計画において、施設部では「安全・安心・快適で魅力ある施設づくり」を重点政策の一つに掲げています。この施設の弱点は階段が多いことですが、「札幌ドームはそういうものだ」と割り切りたくはありません。そこで、上り下りの負担を少しでも軽減できるように、歩道橋から続く階段にエスカレーターを設置しました。また、今年の夏には2階の屋外テラスにトイレを設置し、1階まで降りる負担を軽減したいと考えています。今まで“あたりまえ”とされてきたことを見直し、でき

ることから課題を解決し、札幌ドームがさらに便利で快適になるよう努力していきます。

もっと愛される札幌ドームへ。

当社では、各社員に自分の考えた企画を形にしていけるチャンスが与えられていると思います。私の場合は「これは会社のためになる」という正義感とお客さま目線から、常に新しいことを考え提案しようと努めています。今後は改善だけでなく、New Sapporo Dome に向け、札幌ドームに新たな存在価値を与えるような提案ができれば良いと思います。たとえば、この広い敷地を有効活用する施策や改修計画を、施設部の立場で考えてみたいのです。

時には飛躍しすぎる
提案を、上司には
温かく受けとめて
もらっています



札幌ドームの魅力向上のために 自由な発想でチャレンジしたい。

資源とアイデアを生かして
新たなビジネスモデルの構築を。
来場者サービスと販売促進につなげる
取り組みを進めています。

商業部 事業推進課長
佐々木 恒一 Sasaki Kouichi
2002年入社

子どもに人気のキッズパークの前で。入社動機は「北海道の子どもたちに夢を届けたい」

札幌ドームの公式フィギュアを開発。

事業推進課の業務の柱は、札幌ドームメンバーズクラブの運営、チケットの販売、観光の3つ。また、商業部にある飲食・物販のコンテンツを活用しながら販売促進につなげるマーケティング全般を担っています。いわば横断的役割を持つ課なので、自由な発想で新たなビジネスモデルをつくることによって、札幌ドームの魅力向上につなげたいと考えています。

その一つが、2018年に開発した札幌ドームの公式フィギュア。全国のスタジアムでは初の取り組みで、フィギュア界のカリスマ的存在である「海洋堂」さんに作ってもらいました。札幌ドーム限定商品なので、北海道土産として定着してくれればと願っています。



公式フィギュアは、屋根を開けるとグラウンドがサッカーモードと野球モードに着せ替えられるというもの

課題はメンバーズクラブの 維持・活性化。

北海道日本ハムファイターズさまが2023年に新球場を開業することが決定し、当課が担うメンバーズクラブの運営にも新たな施策が求められています。

今後は、北海道コンサドーレ札幌さまをはじめさまざまな方々と密に連携して企画販売を強化することによ

り、来場促進につなげていく計画です。さらに、札幌ドームで開催しないチケットも幅広く取り扱うことでサービスのコンテンツを増やし、メンバーズクラブの会員さまにも、さまざまなメリットを提供することによって、活性化につなげていきたいと考えています。

ピンチをチャンスととらえ、観光に商機。

2023年以降、プロ野球の試合日数は減ってしまう見通しですが、見方を変えれば、ドームツアーや展望台などの観光に訪れるお客さまをより多くお迎えできるということ。ピンチをチャンスととらえた動きをしていきたいですね。また、札幌市内の複数の観光施設と連携して、相互送客を行う事業展開も強化したいと思っています。

2018年度の取り組みの中で手応えを感じたのは、展望台での運動教室。夜景を見ながらヨガやエアロビクスを楽しむことができ、リピーターも多く生まれました。今後も、札幌ドームの資源を生かし、他部との連携を積極的に図りながら、これからの事業基盤をしっかりと固めていきたいと思っています。

リーダーとして心がけていることは、「NO」から入らず、建設的に議論していくこと



女性も男性も より働きやすい職場づくりを。

株式会社札幌ドームで
初めて産休・育休制度を利用。
自身の経験から、女性も男性もより働きやすい
職場づくりへの提案をしています。

総務部 総務課 主任
佐藤 美保子 Satou Mihoko
2011年入社

2019年3月に第二子が誕生。2020年3月頃に職場復帰する予定です

会社で初めての産休を取得。

当社で産休・育休制度を利用したのは私が初めてだそうです。一度目は2017年3月から休職して翌年4月に復職し、1年もたらず、2019年2月から二度目の産休に入らせていただいています。結婚や出産を契機に退職を考える女性がたくさんいるように、じつは私も第一子ができた時に、勤務を続けるかどうか悩みました。幸い、上司から「会社初の産休・育休をとって戻ってきてほしい」と言っていたので、制度を利用させていただいています。二度ともプロ野球の開幕間近から休むことになり、同僚には申し訳ない気持ちでしたが、皆が明るく「おめでとう」と言って仕事を分担してくれています。「産休がとりづらい」という話はよく聞きますから、自分はとても恵まれていると感謝でいっぱいです。

安心して働ける職場づくり。

現在、総務部が進めている重点施策の中に「社員が安心して働ける職場づくり」があります。私は最初の産休後、在宅勤務のトライアルを体験したり、働き方改革に関連するセミナーで他企業の取り組み事例を学ぶ機会をいただき、課題が見えてきました。当社ですでに、突発的な私用にも対応できるよう時間単位の年休取得が可能です。在宅勤務の導入やより柔軟な時短勤務の運用ができれば……と感じることがあります。女性も男性

もより働きやすい環境が実現できるよう、自身の経験から提案を続けていきます。

総務部は新しい札幌ドームを 後方支援。

発言や提案のしやすさに関しては、働きやすい職場はすでに実現されていると思います。上下関係にとらわれずに発案でき、若い社員の意見も尊重してもらえるので、皆が自主的に考え、動いている気がします。「新しい札幌ドーム」を目指して、今後、営業部や商業部からさまざまな企画が提案されるでしょうから、総務部としてはしっかりと後方支援の役割を果たしていきたいです。札幌市との調整が必要な場合もあれば、法的な手続きの補助が必要な場合もあるかもしれません。「アイデアを形にするには総務部の力も必要」と他の部署から信頼され、気軽に早めに相談してもらえるよう、復職後はより良い連携を意識しながら仕事をしていきたいと思っています。

子どもと一緒に札幌ドームの敷地を散歩し、昆虫に触れ、あらためて「スポーツの庭」を実感しています



株式会社札幌ドームでは、事業の成果は市民や地域に還元していくべきであり、CSR(Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任)とは経営そのものと考えています。当社の経営、すなわちCSR活動においては、すべてのお客さまを大切に、「社会からの信頼を獲得して企業価値を向上させること」「社会の持続可能な発展と未来のスポーツ文化、市場・顧客の創造にも貢献すること」「社員一人ひとりが業務や会社への誇りを持ち、組織活性化にも寄与していくこと」を常に心がけています。

想いを込めてのCSR

本レポートでは当社のCSR活動を次の3分野に整理し、
代表的な取り組みや成果を紹介しています。

地域を想って

人を想って

環境を想って

地域を想って

札幌ドームの魅力や可能性を高める取り組みを通じて地域社会の発展に貢献し、地域の皆さまとともにさらなる成長を目指しています。



新たな名物メニューは力作ぞろい！ 札幌ドームグルメプロデュースグランプリ。

札幌ドームの“名物グルメ”となる商品アイデアを募集し、優秀作品を場内飲食店のメニューとして商品化する「札幌ドームグルメプロデュースグランプリ」。2018年度は「札幌ドーム部門」に加え、新たに「コンサドーレ部門」と「ファイターズ部門」の2部門を新設。応募作品115点の中から、51点の入賞作品を決定しました。

■募集期間：2018年9月1日～10月26日

■表彰式：2019年2月1日



各部門のグランプリと準グランプリ計6人の受賞者が表彰されました

★札幌ドーム部門

チャームコロンの

メロンパフェ

長内 琳花さん



パフェがそのままチャームコロンの！2種類のメロンを使っています

★コンサドーレ部門

赤黒麻婆丼

及川 菜弥さん



赤は四川風麻婆豆腐、黒は黒ゴマとたまり醤油の二色麻婆丼。温泉卵がアクセント

★ファイターズ部門

やんちゃな

フレップの

いちごパフェ

佐藤 舞さん



元気なフレップをイメージしたパフェ。耳はパイ生地、たてがみはいちごで表現しました

2018年度に初開催！ “食べる・創る”の祭典、北海道メイカーズ。



食とモノが集う、北の工房フェスティバル
HOKKAIDO MAKER'S

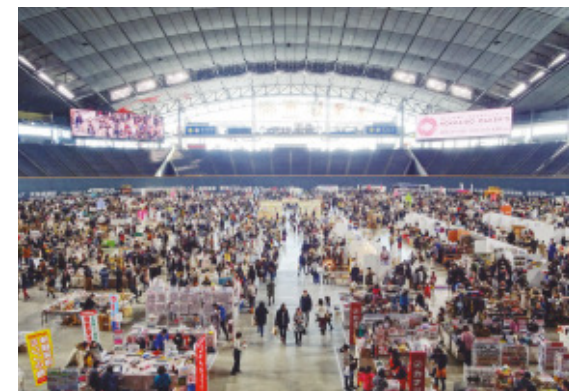
札幌ドーム開業15周年を記念して2016年にスタートした「サッポロモノヴィレッジ」で培ったノウハウを生かし、「食と暮らし」のイベントを企画。2018年度に初めて「HOKKAIDO MAKER'S(北海道メイカーズ)」を開催しました。

自主事業として取り組んだこのイベントは、2019年1月19、20日に開催。「食」と「ハンドメイド」を融合させた内容で、2日間での出店数は806店、出店作家数は3,073人となり、合計16,273人の方にご来場いただきました。

会場内は、内容別に大きく2つのエリアで構成。食をテーマにしたフードエリアでは、「道内の人気パン屋さん」コーナーや、本州で話題のSNS映えする商品を販売するショップも出店し、開場と同時に長蛇の列ができ、売り切れが続出するほど大盛況でした。

ハンドメイドエリアでは、テーブルウェアやファッション雑貨を中心とした作品が並び、ワークショップでは出店者との会話を楽しみながら熱心に作品を作る来場者の方も多く見られました。

北海道のつくり手たちが生み出す「食」と「ハンドメイド作品」は、ひとときの温もりを感じさせてくれます。これからも、札幌ドームはたくさんの温かい笑顔の集まる場でありたい。そうした願いを込めて開催したこのイベントを、今後もじっくりと育てていきます。



2日間で806店が会場に集結



人気の高いパンコーナー



笑顔で記念撮影

来場者アンケートより

お客さまの声を今後に生かします！

歩くスペースが
広くて
見やすかったです。

木工作品の
あたたかみを
すごく感じた。

観客席で
ご飯が食べられたの
も良かった。

ハンドメイド雑貨や
パンなどが買って、
とても面白かった。

店数の多さに驚きました！
どこのお店も
見ごたえがあったので
また来たいです！

フードエリアの
お店を増やして
ほしいです。

ゆったりとした
穏やかな雰囲気が
心地良い。

休憩スペースを
もっと利用しやすい場所に
設けてほしい。

トレーニングルームやナイトランなど健康・体力づくりの場を提供。

季節を問わず、健康・体力づくりの場として地域の皆さまに親しまれているトレーニングルームでは、13機種13台のウエイトマシン、6機種23台の有酸素マシン、シャワールームやロッカーなどを備えています。利用料金は大人1回500円(入会金・年会費など不要)。また、有資格のスポーツトレーナーが常駐し、目的に合わせてトレーニングメニューを無料で作成していますので、初めての方も安心してご利用いただけます。このほか、トレーニングルーム横の会議室や展望台を利用して事前申込制の運動教室も開催しています。

また、寒さや雪の心配をせずにランニングを楽しんでいただけるよう、冬期の期間限定で実施しているナイトランは、3階コンコースをランニングコースとして有料で一般開放。アリーナやスタンドを見ながら快適なランニングをお楽しみいただけます。コース距離は1周716mで、札幌の室内ランニングコースとしては最長です。



各種マシンを備えたトレーニングルーム



運動教室ではヨガなどを開催



ナイトランは非イベント日を中心に実施

館内を見て歩いて語り合う「モニター座談会」

オンラインリサーチの取り組みの一つ「モニター座談会」を2014年から毎年実施しています。まず館内見学で、お客さまの声を反映して改修した箇所を参加者に見て歩いていただき、その後、当社役員・社員と直接意見交換する座談会を開いています。

2018年度は、「ファイターズ新球場建設」「共通スタンプカード」「電子マネー」「来場経験の少ないお客さまへの対応」「敷地内の活用」などについてご意見をうかがいました。

座談会終了後には、「施設の方々の話を聞いて札幌ドームに愛着が湧いた」「札幌ドームのことを勉強するきっかけになるし、これを通じて札幌ドームのファンが増えると思います」などの声がありました。※モニター座談会のレポートは当社ウェブサイトで公表しています。



これまでに改修したスタンドの階段手すり・トイレなどをご覧いただき、普段感じていることや感想をお聞きました



2018年度モニター座談会概要

■実施日・参加人数

2018年12月9日／6人(男性3人・女性3人)

2018年12月10日／7人(男性1人・女性6人)

当社社員の案内で館内見学を行った後、館内レストランでの昼食をはさんで座談会を実施。当社社員のほか担当社員などを交え、意見交換を行いました。併せて、オンラインリサーチ企画についてもご意見をうかがいました。

アンケートで皆さまの声を聴く「オンラインリサーチ」

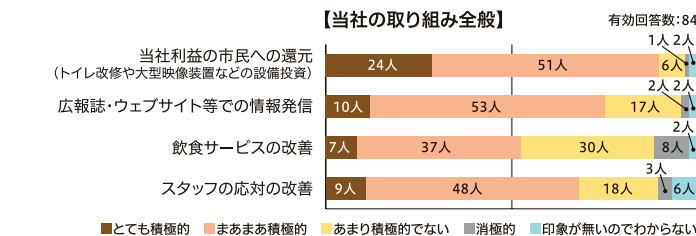
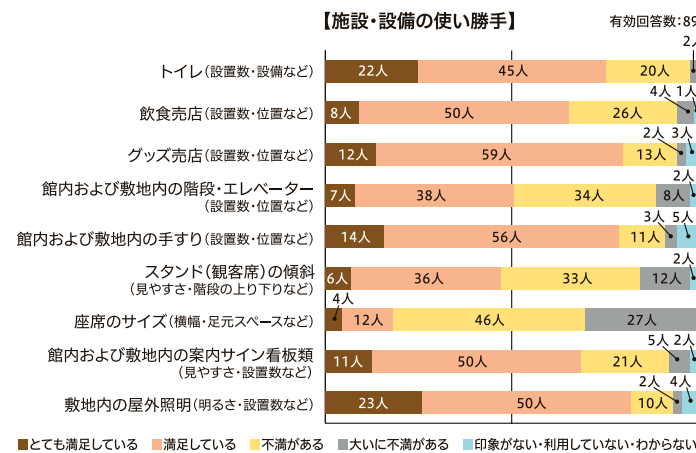
札幌ドームをより安全・安心・快適な施設にしていくため、インターネットアンケート「札幌ドームオンラインリサーチ」を2012年から実施し、モニターを募集して、積極的にご意見やご要望をうかがっています。

2018年度も100人のモニターの方にコンサドーレ戦(8～9月)、ファイターズ戦(6～7月)を各1試合ご覧いただく「モニター観戦」を実施し、施設・設備や飲食サービスの状況などをチェックしていただきました。

アンケートでは、「ウェブサイト、広報誌、各種広告」「施設、設備」「運営会社」の3つの項目を設定。寄せられたご意見はすべて社内でも共有し、札幌ドームをより良い空間へ進化させるための参考とさせていただきます。

※詳細なアンケート結果は当社ウェブサイトで公表しています。

オンラインリサーチによるアンケート結果(抜粋)



雪と遊べる「ゆきひろば」、クロスカントリースキーコースも充実。

例年1月から3月上旬の雪解け時期まで、札幌ドームの敷地内に開設している「ゆきひろば」が、2018年度もオープンしました。ここでは、そりやチューブでの遊びや雪上ストラックアウト・キックターゲットなどを楽しめます。そりやゴムチューブなどは無料で貸し出しており、子どもから大人まで北国の冬を楽しみました。2018年度は計46日間(2019年1月4日～3月8日)で4,808人にご利用いただきました。

また、クロスカントリースキーコースも充実。歩くスキーで札幌ドームを眺めながら周遊コースを楽しめます。積雪状況によりご利用できない日もありますが、いずれも無料でご利用いただけます。



2016 © SAPPORO DOME



親子で楽しむ雪上キックターゲット



クロスカントリースキーコース

人を想って

安全・安心な舞台を提供するとともに、未来を担う子どもたちの健やかな成長を、教育・スポーツへの支援活動などを通じて応援しています。



「みらいシート」で観戦の楽しさと興奮を体験！

北海道コンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズの公式戦に、札幌市内の小学3年生とその保護者さまを招待する「札幌ドームみらいシート」。

このプロジェクトは「はじめての札幌ドーム」をコンセプトとして、観戦を通して地域のスポーツ普及振興に貢献するとともに、地域・学校・家族の絆を深めることを目的としています。現在取り組んでいる第5弾では、2018年3月～2019年12月の期間に2,755組5,510名さまをご招待する予定です。



目の前で見えるプロスポーツの迫力を実感！

札幌ドーム みらいシートご招待実績 (2008年～2018年)

第1弾 (2008年～2010年)	7,540名
第2弾 (2011年～2013年)	6,802名
第3弾 (2014年～2015年)	5,252名
第4弾 (2016年～2017年)	4,612名
第5弾 (2018年のみ)	1,926名

累計 26,132名

保護者の皆さまからのメッセージ

売り子さんから
ジュースやアイスを買えたこと
がとても楽しかったらしく、
下の子に自慢しっぱなし
でした。

サポーターの方の
大きな声援や選手同士の
激しいぶつかり合いが
見られて、娘も私も
感動しました。

なかなかドームに行く
機会が無かったので、
ご招待いただき
本当に嬉しかったし、
感謝しています。

野球のルールが
わからない息子に教えながら、
楽しい時間を過ごすことができ
感謝しています。

テレビで見るのとは
全く違った楽しみがあります。
娘もすごく喜んで、
双眼鏡まで
持参していました。

あまり興味のなかった野球も
興味を持って見るようになったので、
良い機会を与えて下さり
感謝しています。

ファイターズガール
やボールボーイなど
選手以外にも
色んな姿を見て、
いい刺激になりました！

初めての野球観戦ができ、
雰囲気味わい、
経験として行って良かったと
思います。

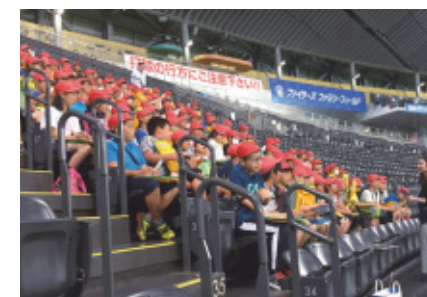


2016 © SAPPORO DOME

札幌ドームから街をみてみよう！ 展望台見学と環境学習。

札幌ドームでは、2013年から毎年、近隣の小学校の5年生を対象に「札幌ドームからみんなの街をみてみよう」と題した展望台見学と環境学習に取り組んでいます。

羊ヶ丘の緑と街の境界に位置する札幌ドームからの眺めを通じて「自然」と「人の暮らし」に目を向け、環境や地域について考える機会を子どもたちに提供しています。札幌ドームの徒歩圏内にある5つの小学校を対象とし、毎年継続することで全児童の皆さまをご招待する予定です。



展望台を見学した後は、スタンド席に移動して環境学習

2018年度 展望台招待事業招待実績

2018年6月 5日	福住小学校	138名
2018年6月29日	月寒東小学校	82名
2018年7月 3日	あやめ野小学校	30名
2018年7月20日	羊丘小学校	81名

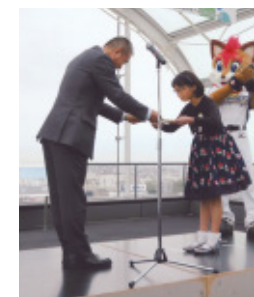
計 331名

力作147点がそろった 「第8回 札幌ドームこども絵画展」

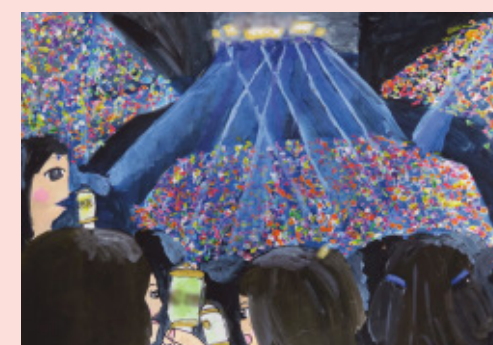
子どもたちのスポーツ・文化への関心を高めるとともに、札幌ドームを本拠地とする北海道コンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズの人気をさらに盛り上げるため、小学生を対象に「第8回 札幌ドームこども絵画展」を実施しました。応募147点の中から入賞作品28点が決定し、2018年9月20～27日の期間、すべての応募作品を札幌ドーム南北連絡通路に展示しました。



2016 © SAPPORO DOME



2018年9月22日に開催した表彰式



楽しかったLIVE
近藤 百花さん(5年生)

金 賞



【小学1・2年生部門】

【小学3・4年生部門】

はじめての
サッカーおうえん
宮本 匠さん(1年生)

夏空に輝くドーム
山本 悠太さん(4年生)



ク・ソンユンが
すごいすびーどで、
ボールをとるところ。
岡田 色花さん(5年生)

北海道胆振東部地震の体験と学びを 社内講習会で共有しました。

2018年9月6日3時7分に北海道胆振東部地震(M6.7)が発生し、その影響により、北海道は、ほぼ全域で停電となる国内初のブラックアウトに見舞われました。最大震度は厚真町で震度7、札幌ドームのある札幌市豊平区では震度5弱を記録しました。

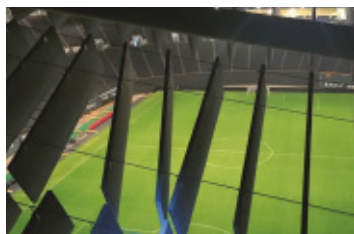
当社では、地震発生時の社員の安否確認システムでの

応答状況、館内の被害状況、停電の影響、被害金額、電力復旧までの対応状況などを一連の情報として集約し、社員に周知するため、「防火・防災に関する社内講習会」を2019年2月に実施し、その体験と学びを社内でも共有。大規模地震など今後の自然災害発生時の対応に生かしていきます。

被害の状況



4階貴賓室天井ボードはがれ



アリーナ天井吸音板
各所金物外れ、ずれ、変形

地震による札幌ドームの被害発生箇所は90カ所にのぼり、その4割は1階に集中していました。全体のうち費用を要して復旧した箇所は7カ所あり、復旧費用は合計で約800万円となりました。

地震の影響

地震の影響により、発生翌日の9月7日に開催を予定していたキリンチャレンジカップ2018が中止になったほか、9月11、12日に予定していた北海道日本ハムファイターズ公式戦も中止となりました。



地震発生当日の事務所の様子

また、停電により、空調などが使用できなかったことが影響し、ホヴァリングサッカーステージの天然芝の一部が黄化する被害が発生しました。



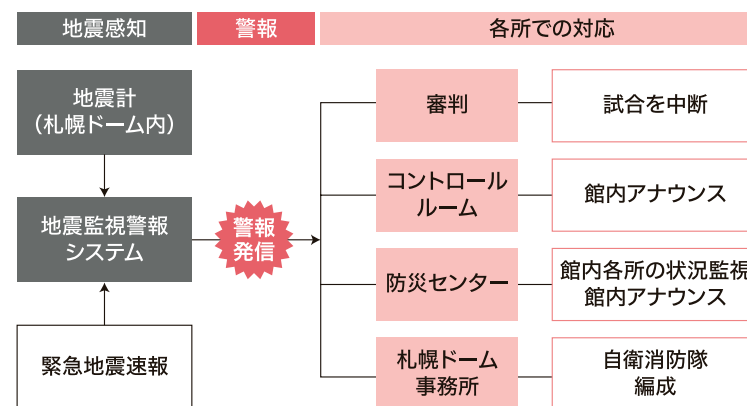
一部黄化したホヴァリングサッカーステージの天然芝

地震や火災などの発生に備え、 防災体制の強化を図っています。

札幌ドームでは、大規模地震を想定した対策として地震監視警報システムを導入。また、消防法に基づく消防計画を作成し、社内で組織した自衛消防隊による消火訓練のほか、防火・防災講習会や関係機関との総合防災訓練を繰り返し、万一の事態に備えています。

また、センサーや遠隔監視システムを用いた機械警備、警備員による巡回警備、警察・消防・主催者さまとの連携により、大規模イベント開催時の警備・救命体制を強化し、お客さまの安全を確保しています。

■地震監視警報システムによる大規模地震への対応体制(イメージ図)



イベント時などを具体的に想定して行う総合防災訓練



災害時の対応要領などを記載した 防災カードを社員が携帯

災害時の札幌ドームでの対応要領や消火栓の使い方などを記載した防災カードを社員に配布。それぞれが携帯し、日頃の防災意識の向上にもつなげています。



4万人のお客さまの「食」の安全を 連携プレーで守ります。

札幌ドーム内で販売する飲食物の衛生管理は、行政機関や民間の衛生機関とも連携しながら行っています。また、安全・安心な商品提供の徹底を図るよう、飲食売店の新人スタッフ、社員・リーダーなど、対象ごとに衛生講習会を実施しているほか、社員自らが食品衛生指導員資格の取得などにも積極的に取り組んでいます。

札幌ドームと施設内の飲食事業者で組織する「札幌ドーム飲食事業者協議会」では、衛生管理ノウハウの共有や日々の遂行のためのチェックシートを作成し、各事業者に提出を義務付けているほか、札幌市と「さっぽろ食の安全・安心推進協定」を締結。重点的に取り組む4つのマイルールを策定し、常に食のさらなる安全を追求しています。

札幌ドーム飲食事業者協議会マイルール

- 会員各社は、5S(整理、整頓、清潔、清掃、躰)を徹底し、売店厨房等の良好な環境の保持に努めます。
- 会員各社は、食材の適切な温度管理や、異物混入を防ぐための点検を徹底します。
- 会員各社は、従業員の健康管理や身だしなみの確認を行い、従業員一人一人の衛生意識の向上と徹底に努めます。
- 会員各社は、札幌ドームに来院するお客さまに安心していただける「安全」な商品の提供とサービスの向上に努めます。

「さっぽろ食の安全・安心推進協定」は、札幌市が「安全・安心な食のまち・さっぽろ」を目指して、2009年に札幌市内の生産者・食品管理事業者・食品関連団体を対象として創設されました。本協定を締結した事業者・団体等は、食の安全・安心に関して重点的に取り組んでいく事項を「マイルール」として定め、消費者に公開するとともに、年度毎の取り組み結果を市長に報告します。

社員へのアンケート結果

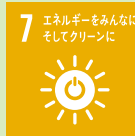
●地震発生時の状況	・90%以上が自宅で就寝中 ・地震後、ほとんどの社員が家族の安否確認と被害状況の確認を実施
●安否確認システム	・受信できた社員 88.7% ・このうち66%が受信後すぐに返信
●課長以上と自衛消防隊本部員の原則出社ルール	・知っていた社員 37.7% ・出社しなかった社員も、その多くが他の社員や取引先と連絡を取り合っていた
●大規模地震に関するマニュアル	・役に立った 35.9% ・内容を覚えていない、手元にマニュアルがない、といった社員も多くいた

今後に向けて実施していきたいこと

- ①大規模地震を想定した訓練の継続と役割のローテーション実施
- ②新たに必要な災害用備蓄物資の洗い出し
- ③必要な設備改修の検討
- ④社員・委託事業者・主催者さまとの連携強化と密な情報共有
- ⑤各マニュアルの共有方法の見直しと周知の徹底
- ⑥災害時の入館管理ルールの検討
- ⑦安否確認システムには個人携帯のメールアドレスを登録

環境を想って

環境にやさしい施設を心がけ、省エネルギー、資源循環の促進、生物多様性の保全、啓発活動の推進に取り組んでいます。

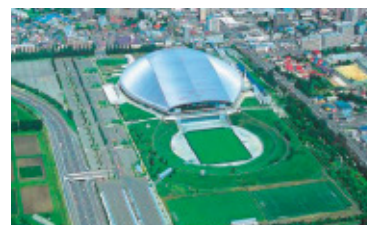


周辺の自然をできるだけ生かした 広大で緑豊かな「スポーツの庭」

農耕地と都市をつなぐ「スポーツの庭」として誕生した札幌ドーム。建設前より豊かな環境づくりを目指す「エコロジカルプランニング」に基づき、これまで敷地の維持管理に取り組んできました。成果は着実に現れ、緑豊かな敷地には生き物が年々増え続けています。こうした取り組みについて、子どもたちをはじめ多くの方々に知っていただけるよう、楽しみながら参加できるさまざまな企画を実施しています。



札幌ドーム
建設前



現在

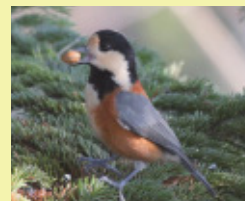
【こんな生き物がいます】

2016 © SAPPORO DOME

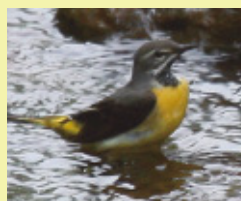
野鳥
36種類

札幌ドームが
できる前の1.6倍

地域の子どもたちが作製した巣箱を各所に設置。夏の36種類のほか、冬には渡り鳥も見られます。



ヤマガラ



キセキレイ

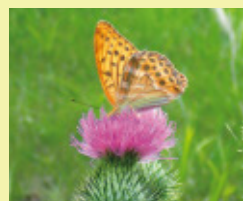
チョウ
35種類

札幌ドームが
できる前の3.5倍

敷地内で確認されている樹木は81科313種。木を植え草地进行手入れすることで、チョウの生息数が増えました。



エゾシロチョウ

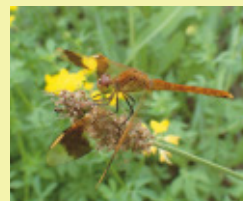


ミドリヒョウモン

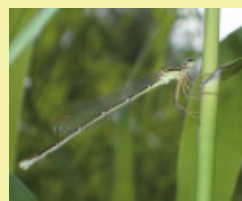
トンボ
30種類

札幌ドームが
できる前の6倍

草地の刈り込みや植栽の剪定を行う際は生き物にも配慮。敷地内にある調整池の泥を取り除く際はヨシやガマを残しています。



ミヤマアカネ



モノサシトンボ

(※確認種数は2015年の調査によるものです。協力：大成建設株式会社)

第4回札幌ドーム生き物探検隊！ ～ドームに暮らす鳥と昆虫を観察しよう～

札幌ドーム内の緑化の成果や生態系の豊かさを知っていただくため、専門家と一緒に鳥や昆虫の観察を行う「札幌ドーム生き物探検隊！」を2018年8月4日に実施しました。当日は10組20名(子ども10名、大人10名)が参加。札幌ドームの生物多様性への取り組みについて解説を受けた後、双眼鏡の使い方を習って、野鳥の観察をスタート。その後、昆虫を虫取り網で捕まえながら観察しました。参加された皆さまには、生き物博士認定証や探検の記録などをお渡ししました。

〔協力〕 大成建設株式会社

〔講師〕 NPO法人生態教育センター主任指導員 中村忠昌氏

中央大学 理工学部 保全生態学研究室 協力研究員 須田真一氏



〈須田先生からのメッセージ〉

昆虫は時期やその日のお天気などでみられる種類や場所などが変わるので、いろいろな時期や時間に観察に来てみてください。また、身近な場所でもぜひ探してみてください。きっと新たな発見があると思います！

鳥たちが活動的な季節に開催！ 第2回札幌ドーム初夏の野鳥観察会。

野鳥の特徴や生態についての解説を専門家から聞きながらバードウォッチングが楽しめる「札幌ドーム初夏の野鳥観察会」を2018年6月9日に実施しました。当日は22名が参加。講師の解説を受けながら熱心に観察し、札幌ドーム敷地内の生態系の豊かさを再認識していただきました。実施後のアンケートでは「ドームの楽しみ方の幅が広がりました」「都会の中でこんなに生き物たちに会うことができるのだと驚きました」など、さまざまな感想をいただいています。

〔講師〕 NPO法人生態教育センター主任指導員 中村忠昌氏

参加者アンケートより

お客さまの声を今後に生かします！

おもしろかったので
また行ってみたい。
もっと多くの
鳥や虫を観察したり、
つかまえてみたい。

子ども

いろいろまなべた。
オオルリボシヤンマが
オニヤンマより
大きいとわかった。

いろんな虫を
つかまえて
たのしかった。

ふだん
見られないような
生き物がたくさんいて
面白かった。

専門家の先生と一緒に、
貴重な話を聞きながら
観察ができ、とても
楽しかったです。

大人

夏休みの
良い思い出に
なりました。

双眼鏡で見た
カワラヒワは
とてもきれいで、
観察会ならではの
思い出でした。

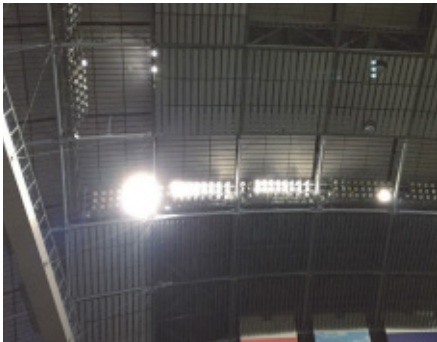


省エネルギーに努め、CO₂排出量を削減。

お客さまの安全性や快適性を保ちながら、環境にやさしい設備を積極的に活用しています。

照明のLED化を推進。

省エネルギー対策の一環として照明のLED化を順次進めています。2016年度はコントロールルームの音響エリアの照明などをLED化。2017年度は札幌市の工事としてアリーナ天井のサッカー用照明をLED化、2018年度には野球用照明をLED化しました。新たな照明は、明るさ向上と使用電力の低減を図れるほか、点灯・消灯が即時に切り替えられるため、各種セレモニーでは明かりの点滅を生かした演出が可能になっています。



照明モードでも省エネ。

19種類の照明モードを緻密に制御。イベント開催、ドームツアー、清掃など、利用状況に応じた照明モードを採用して、省エネを推進しています。プロ野球開催の際も、試合中とグラウンド整備時とでモードを切り換えて、電力消費量を削減しています。

省エネ型の設備を積極的に活用。

省エネ型の空調用送水ポンプ制御システム「エコノパイロット」を導入するなど、省エネ設備の導入や制御改良などを積極的に進め、CO₂排出量削減に努めています。



ゴミを圧縮して減容化。

ゴミ圧縮機により、回収したプラスチック、容器包装プラスチック、紙パックなどを圧縮して減容化することで、ゴミの搬送回数を減らし、CO₂排出量を削減しています。



ゴミ圧縮機。プラスチックの場合、約7分の1の容積に圧縮できます

環境に配慮した設計。

●ドームの半地下・断熱設計

アリーナの大部分が土に囲まれた半地下構造となっていることにより、建物全体の断熱性が高く、冷暖房用のエネルギー消費を抑えることができます。



●スタンド席の局所空調

アリーナ全体の冷暖房ではなく、スタンド席の足元から冷気や温風を吹き出し、座席周辺に的を絞って冷暖房を行うことにより、快適さと省エネを両立しています。

●自然換気の積極利用

天井に設置された開閉式パネルと、オープンアリーナと屋内アリーナを仕切る開閉式扉のシャッターを操作し、空気の通り道を作って自然換気を行っています。



●自然採光の積極利用

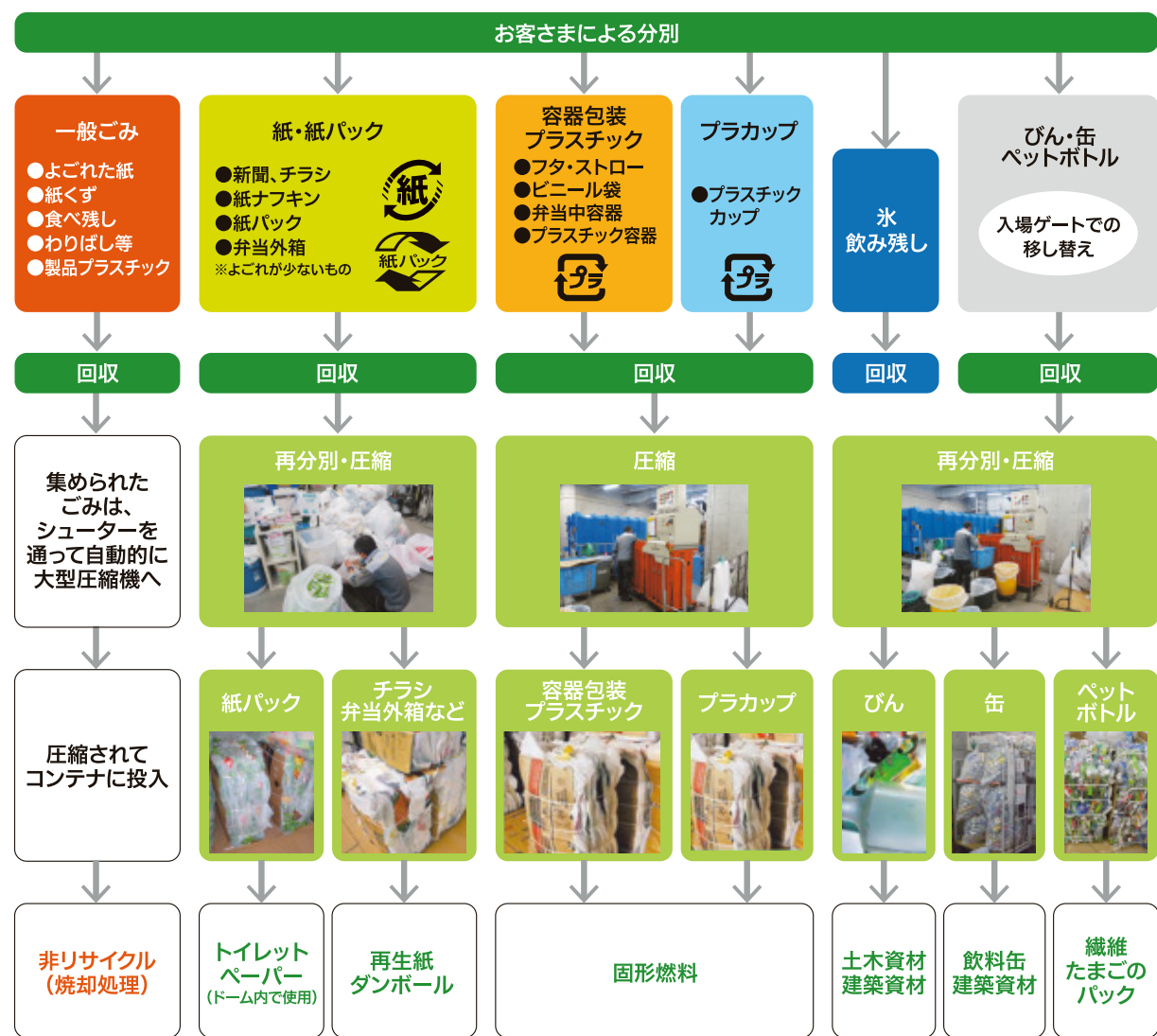
壁面の多くがガラス面となっており、イベントのない日は自然の光を積極的に取り入れることにより、アリーナ照明の点灯数・点灯時間を最小限に抑えています。

お客さまとともにリサイクル。

ゴミの分別回収を行ってリサイクルを推進。お客さま、主催者さま、委託事業者さまとともに資源循環に取り組んでいます。



●リサイクルの流れ



【札幌ドーム環境コンセプト】

札幌ドーム ECO MOTION
～ひとりひとりがエコプレイヤー～



札幌ドーム 環境シンボルマーク

札幌ドームは、札幌市環境マネジメントシステムを通じて、地球温暖化対策および環境配慮の推進に努めています。

【環境方針】

私たちは、みらいの子供たちに美しい地球を残し、
札幌ドームを環境にやさしい施設として
維持し続けることを使命として、
訪れるすべてのお客さまとともに、
よりよい環境づくりに向けて取り組みます

(2008年3月策定)

ECO MOTION 2021～2021年に向けた環境目標

環境方針を実現するため、開業20周年を迎える2021年に向けて
重点的に取り組む指針と、2011年を基準年とした数値目標を2013年3月に策定しました。

① マネジメント体制の
推進・法令遵守の徹底

法令を遵守し、環境経営実現に向けて取り組みを進めます

環境マネジメントシステムを運用し、継続的に改善を行います
環境負荷を正確に把握し、環境関連法令を遵守します
CSRレポートなどを活用し、環境への取り組みを公開します

② 低炭素社会に向けた
取り組み省エネルギーに努め、CO₂排出量を減らします

お客さまの安全や快適さを保ちつつ、エネルギー消費抑制に努めます
調査研究を進め、効果的な環境設備投資を行います
施設の特性を最大限に活かし、積極的な運用改善を行います

2021年に向けた
数値目標 エネルギー使用量を2011年度より**10%**削減します

③ 循環型社会に向けた
取り組み

廃棄物を削減するとともに、資源循環を促進します

お客さまとともにごみの分別を進め、札幌ドーム内での資源循環を実現します
事業活動に伴うごみを削減するとともに、分別を徹底します
グリーン購入を積極的に進めます

2021年に向けた
数値目標 廃棄ごみを2011年度より**30%**削減します
リサイクル率を**60%**以上にします

④ 生物多様性の保全と
環境啓発活動の推進

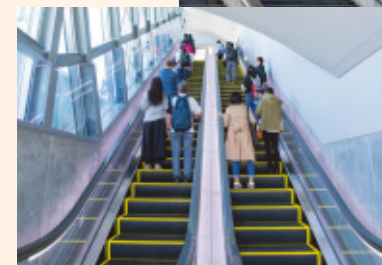
緑豊かな札幌ドームで、お客さまとともに環境を学びます

生物多様性に配慮して敷地を保全し、多くの生き物が訪れる環境を維持します
子どもたちに環境を学ぶ機会を提供します
社員自らが積極的に学び、環境への取り組みを進めます

2021年に向けた
数値目標 **30種以上**の鳥が訪れる環境を維持します
環境啓発企画への参加者を延べ**10万人**にします

敷地内の階段に
エスカレーターを設置。
(2019年2月)

階段の上り下りの負担を軽減するため、ドーム歩道橋そばの階段に、屋根付きで冬も使えるエスカレーターを設置しました。歩道橋は、地下鉄福住駅からドーム館内までの主要な入退場ルートとなっており、エレベーターは設置されているものの、お客さまアンケート「オンラインリサーチ」などを通じて「歩道橋そばの階段にエスカレーターを設置してほしい」との声を以前から多くいただいていた。このエスカレーターは、2018年8月に設置工事をスタートし、2019年のスポーツシーズン開幕に間に合わせて2月に完成しました。



〔仕様〕
■台数:2台 ■幅 1,000mm ■定格速度:30-20m/min ■階高:6,650mm
■自動運転システム搭載 ■寒冷地仕様
※上下運転を行います、イベント開催時は2台とも同じ方向に運転する場合があります。

野球用人工芝を更新。
(2019年2月)

北海道日本ハムファイターズの選手の方々からのご要望をふまえ、計画よりも早く人工芝を更新しました。新たな人工芝は、約1年前から製造。従来のものよりもつなぎ目を少なくすることで、野手が守りやすいプレー環境を追求しました。設置作業は2019年1月下旬から2週間かけて行いました。2019年のファイターズ戦は新しいフィールドでのプレーをご覧ください。



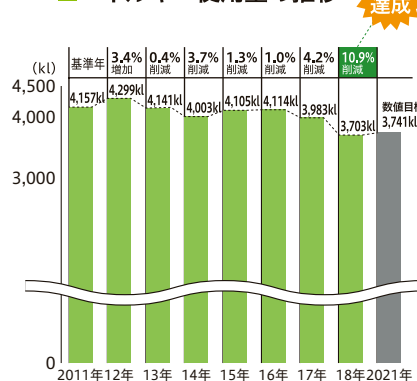
2016 © SAPPORO DOME

ホヴァリングサッカーステージの
天然芝を更新。(2018年7月)

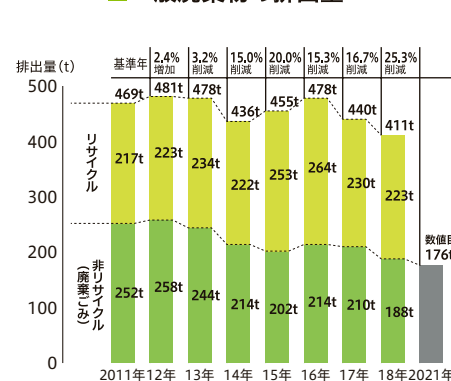
開業時は重さ約8,300tだったホヴァリングサッカーステージは、天然芝補修時の目砂入れなどにより少しずつ重さが増して、耐荷重9,400tに迫る9,200tにまで達していました。そこで、砂の量調整を行い、重量適正化を図るため、札幌市の工事として、ホヴァリングサッカーステージの天然芝を更新しました。張り替え用の天然芝は札幌ドームの敷地内と千歳市内で種をまいて育成し、その芝を切り出して張りつける「張芝工法」を用いての作業を行いました。更新により、芝に混じった雑草もなくなり、きれいなピッチに生まれ変わりました。



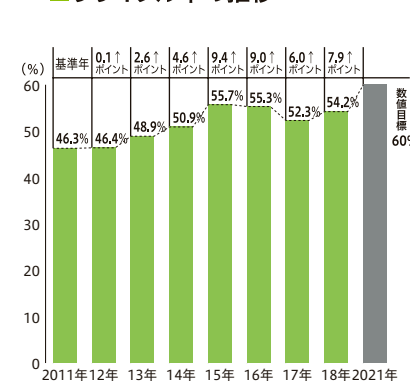
■エネルギー使用量の推移



■一般廃棄物の排出量



■リサイクル率の推移



さっぽろエコメンバー



北海道グリーン・ビズ認定



グリーン購入ネットワーク



国連生物多様性の
10年日本委員会認定



生物多様性
さっぽろ応援宣言企業

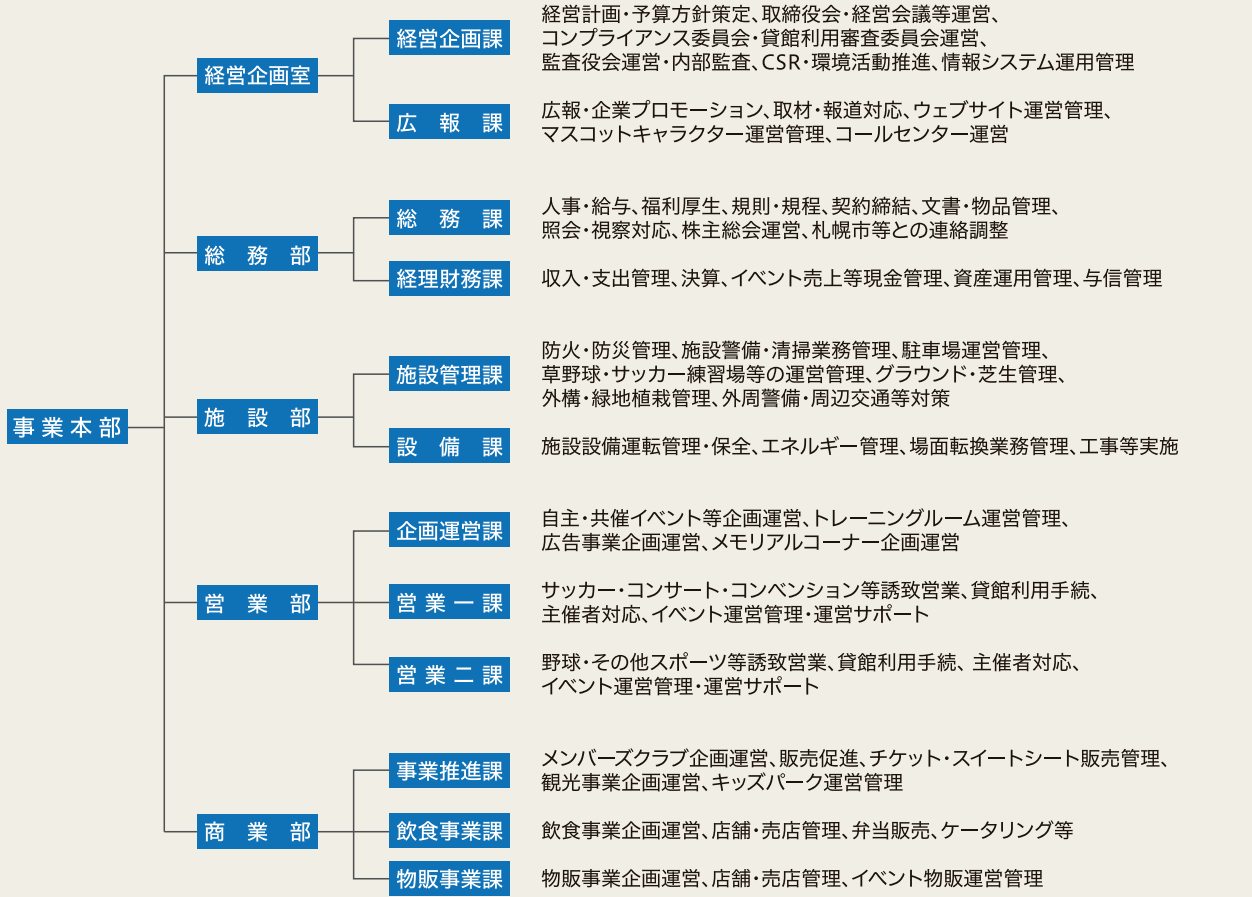


資 料

■会社概要

商 号	株式会社札幌ドーム
所 在 地	札幌市豊平区羊ケ丘1番地
代 表 者	代表取締役社長 山川 広行
設 立	1998年10月1日
資 本 金	10億円
売 上 高	36億1,602万円(2019年3月期)
社 員 数	73名(2019年6月現在)
事 業 内 容	札幌ドームの管理運営業務全般 [地方自治法および札幌ドーム条例等の規定に基づく札幌ドーム指定管理者] 1. 貸館事業 アリーナ・諸室等のイベント利用への貸出およびイベント運営サポート 2. 商業事業 ドーム内の飲食物販事業の管理運営 3. 観光事業 ドーム展望台およびドーム見学ツアーの運営 4. 市民利用事業 草野球、サッカー練習場およびトレーニング室の一般市民利用管理 5. 広告事業 ドーム内広告看板の販売管理 6. 駐車場事業 ドーム駐車場の管理運営 7. チケット事業 各種イベントのチケット販売管理
開 業 日	2001年6月2日
株 主	札幌市(55%)、札幌商工会議所、北海道電力(株)、北海道瓦斯(株)、(株)北海道新聞社、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、サッポロビール(株)、(株)プリンスホテル、(株)竹中工務店、大成建設(株)、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(株)電通、(株)電通北海道、(株)大広、東日本電信電話(株)、(株)近畿日本ツーリスト北海道、(株)NTT東日本一北海道、(株)NTTネクシア、北海道キリンビバレッジ(株)、サントリービバレッジサービス(株)、(株)JTB、(株)JTB商事、北海道放送(株)、札幌テレビ放送(株)、北海道テレビ放送(株)、北海道文化放送(株)

■組織図および業務分掌



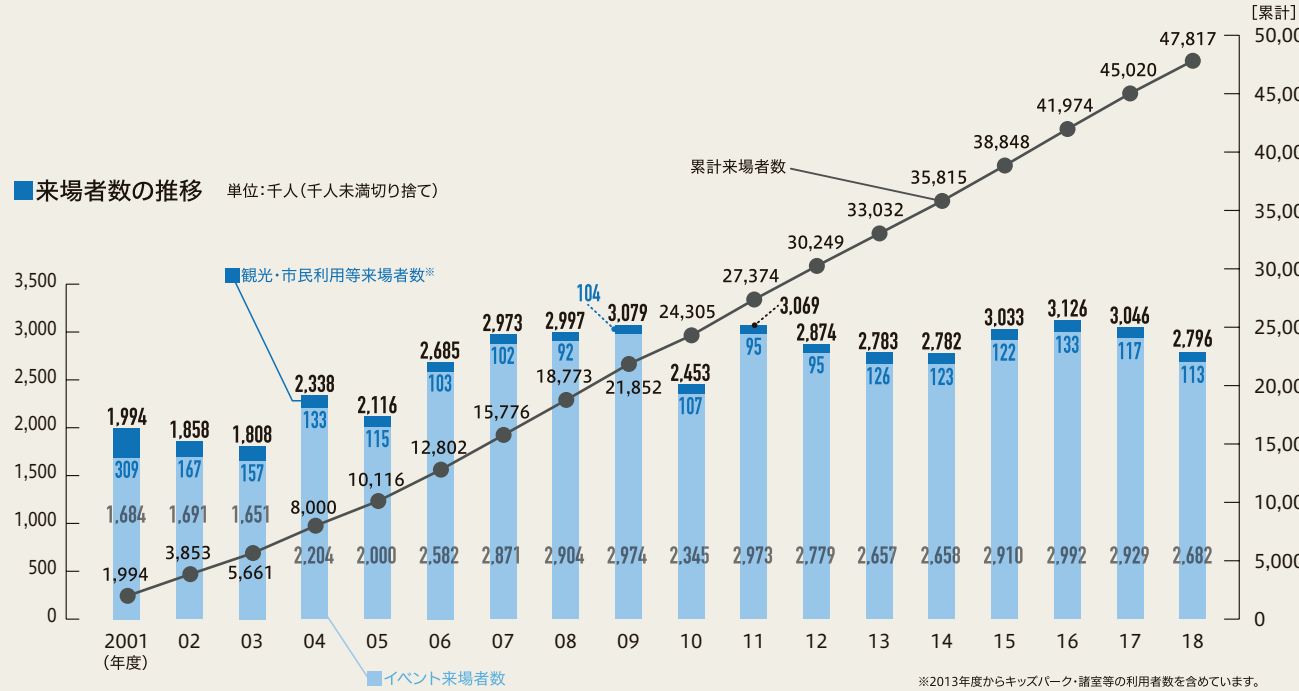
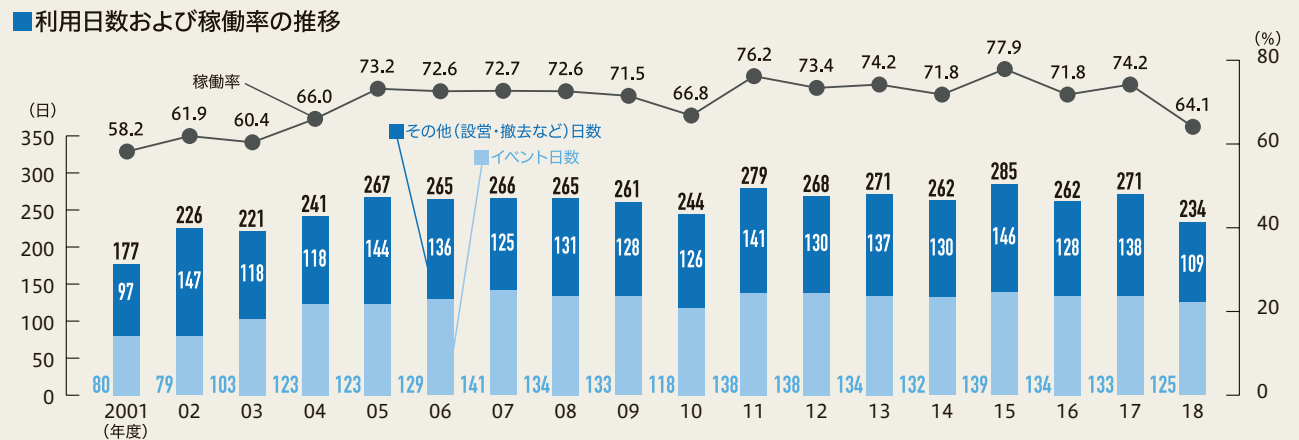
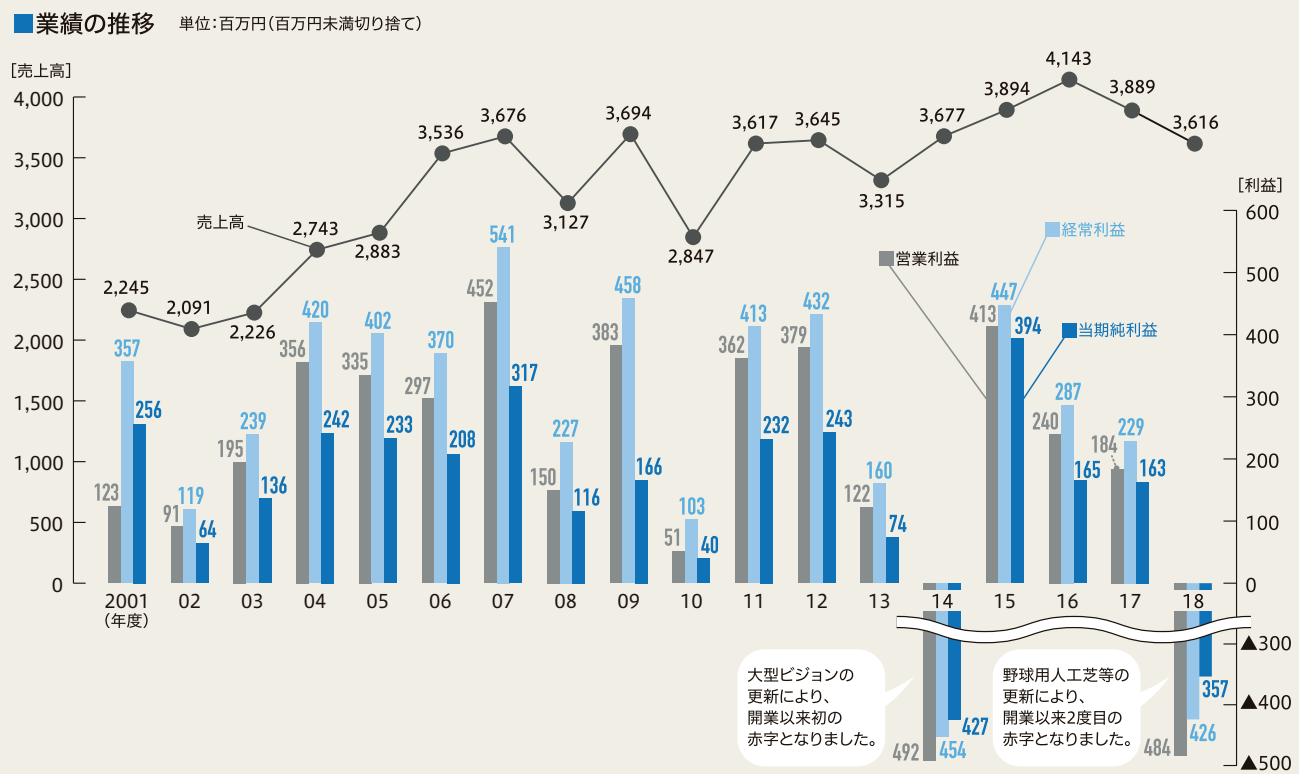
■札幌ドームのあゆみ

1992、	7	札幌市、2002FIFAワールドカップ™大会開催地に立候補
1993、	1	札幌市、2002FIFAワールドカップ™大会国内開催候補地に決定
1996、	1	札幌市、ドーム化を決定
	4	コンサドーレ札幌(現：北海道コンサドーレ札幌)が発足
	5	2002FIFAワールドカップ™大会日韓同時開催決定
1997、	2	設計技術コンペの結果、原広司グループ案に決定
1998、	6	着工
	10	株式会社札幌ドーム設立
1999、	10	札幌ドーム条例制定
2001、	5	竣工
	6	開業(6/2)
	7	コンサドーレ札幌 札幌ドーム初のJリーグ公式戦開催
	9	来場者100万人突破
2002、	6	2002FIFAワールドカップ™大会開催
	7	日本ハムファイターズフランチャイズ移転正式決定
	10	トレーニングルーム オープン
	12	「J1ベストピッチ賞」受賞
2003、	10	札幌ドーム敷地内にフランチャイズ事務所棟完成
2004、	3	北海道日本ハムファイターズ移転元年シーズン開幕
	11	「札幌ドームMVP賞」創設
2005、	3	人工芝更新
2006、	3	来場者1,000万人突破、メモリアルコーナー設置
	4	札幌ドーム指定管理者制度導入
	5	こどものひろば“キッズパーク”オープン
	6	開業5周年「ありがとう札幌ドーム5周年キャンペーン」
	10	北海道日本ハムファイターズ日本シリーズ優勝
2007、	2	FISノルディックスキー世界選手権 札幌大会開催
	10	来場者1,500万人突破
2008、	3	「札幌ドームみらいシート」事業を開始
	10	2008FIA世界ラリー選手権 第14戦 パイオニア・カロツツェリア ラリージャパン開催
2009、	3	プレイヤーズビューシート設置
	8	来場者2,000万人突破
2010、	9	2010FIA世界ラリー選手権 第10戦 ラリージャパン開催
2011、	6	開業10周年、来場者2,500万人突破
	7	北ガスグループ6時間リレーマラソン in 札幌ドーム初開催
	7	「札幌ドームこども絵画展」事業を開始
2012、	2	札幌モーターショー初開催
2013、	1	来場者3,000万人突破
	2	人工芝更新(2回目)
	6	来場者3,000万人を記念し、「感謝の森」を造成
2014、	3	「グッズ☆ジャム」拡張リニューアルオープン
2015、	2	大型ビジョン更新
2016、	6	開業15周年
	6	サッポロ モノ ヴィレージ初開催
	6	札幌ドームマスコットキャラクター「チャームコロン」誕生
	7	来場者4,000万人突破
2017、	2	冬季アジア札幌大会 開会式開催
2019、	1	HOKKAIDO MAKER'S初開催
	2	敷地内の階段にエスカレーター設置
	2	人工芝更新(3回目)

■環境活動のあゆみ

2001、	6	自然力を生かした環境配慮型施設として開業(半地下構造、自然採光・自然換気、コージェネレーションシステム導入等)
2004、	3	蒸気系統バルブ類断熱工事
2007、	2	売店等でのレジ袋削減の推進開始
	3	イベント開催時に「紙カップ専用回収ボックス」を設置し、分別回収開始
	6	北海道日本ハムファイターズ戦において「マイお買い物袋」を初配布
	8	通年営業店舗サインをLED化
	9	芝ごみの分別を開始
	9	イベント開催時における紙トレイ・弁当外箱の分別回収テスト実施
	11	冬季イルミネーションにグリーン電力を採用(2009年まで実施)
2008、	1	ボイラー室給排気ファンインバーター化工事
	3	環境方針の策定
	3	給湯設備「エコキュート」の導入、ごみ圧縮機の導入
	3	バイオマスプラスチック製カップの導入
	4	札幌ドーム ウェブサイト「社会と環境への取り組み」ページを公開
	6	空調冷温水2次ポンプのインバーター化工事
	6	「北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展2008」にブース出展
	7	北海道日本ハムファイターズ戦において「札幌ドームプレゼンツ ナイター〜ひとりひとりりがエコプレイヤー」開催
	9	第10回グリーン購入大賞(中小企業部門)において「大賞」を受賞
2009、	4	野球グラウンドの土の再利用を開始
	5	プロ野球開催時(グラウンド整備時)の照明モードの見直し
	6	月間強化項目を定めた「社員エコ行動」の推進開始
	11	北海道グリーン・ビズ認定制度「創意あふれる取組」部門(もったいない心分野)に認定
2010、	3	コンコースおよび南北連絡通路の一部照明をLED化
	3	低騒音・省エネ型除雪ドーザーの導入
	3	イベント開催時の雑がみ分別開始
	4	Kid's ISO 14000プログラムに協賛(以降、毎年継続)
	8	エコポイントを活用し、環境寄付を実施
	11	ベリメーターヒーターインバーター化工事
	12	環境啓発企画「エコ宣言を書いてドームを自然でいっぱいにしよう」開催
2011、	3	札幌ドーム太陽光発電設備設置
	3	屋外イベント用「リサイクルポスト」製作
	3	「エコ弁当」を企画
	3	2011年度からの環境数値目標を一部上方修正
	10	第6回環境科学展(札幌市青少年科学館主催)にブース初出展
2012、	2	トイレ照明人感センサー化工事
	3	トイレ手洗い・トレーニングルームシャワーに節水金物を設置
	7	第4回さっぽろ環境賞(循環型社会形成部門)において「優秀賞」を受賞、社員による敷地内外のごみ拾い「札幌ドームクリーン・アップ作戦」を開始
	9	環境啓発企画「札幌ドーム巣箱づくり体験教室」を開催
	11	西棟ガラス面にバードセーバーを設置
	11	展望台ガラスの遮熱コーティング工事
	12	平成24年度北海道ゼロ・エミ大賞において「大賞」を受賞
2013、	3	新環境目標「ECO MOTION 2021」を策定
	6	「札幌ドーム展望台見学および環境啓発事業」を開始
	10	「循環型社会形成推進功労者 環境大臣表彰」を受賞
2014、	3	飲料用カップにプラスチック製品を導入し、リサイクルポストの分別回収方法を変更
	3	電気自動車を導入
	5	芝ごみの堆肥化リサイクルを開始
	7	自主イベント時の環境啓発ブースの出展を開始
	12	容器包装プラスチックごみの分別・再資源化を開始し、リサイクルポストの分別回収方法を変更
2015、	3	「札幌ドーム ECO MOTIONと大成建設エコロジカルプランニング」が「国連生物多様性の10年日本委員会の連携事業」に認定
	5	「ラブアース・クリーンアップin北海道」への参加を開始
	8	環境啓発企画「札幌ドーム 生き物探検隊!」を初開催
	11	「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」に登録
2016、	10	「札幌ドームECO MOTION」が第5回いきものにぎわい企業活動コンテストで「環境大臣賞」を受賞
2017、	6	環境啓発企画「初夏の野鳥観察会」を初開催
2018、	3	アリーナ天井のサッカー用照明をLED化
2019、	3	アリーナ天井の野球用照明をLED化

資料



第三者意見

始動！SDGs経営

「札幌ドーム REPORT 2019」と題された本冊子は、札幌ドームの管理会社である株式会社札幌ドームが刊行している年次レポートです。本レポートを読み解きながら、読者の皆さんと一緒に、株式会社札幌ドームについて考えてみたいと思います。

本冊子を手にとった皆さんの感想はどのようなものでしょうか。私が本レポートにサブタイトルを付けるならば、「始動！SDGs経営」としたいところです。本レポート名は「環境報告書」、「札幌ドームCSRレポート」と歴史的に名前を変えてきました。常に活動レポート内容も有していましたので、タイトル推移は、「環境・CSRが経営活動に統合されていく推移」とも見て取れます。昨年登場したSDGsが、本年ではいよいよ経営活動に組み込まれようとしている。そんな現場に私たち読者も期せずして立ち会ってしまう。本冊子はそんな仕掛けをもっています。

SDGs経営

そもそも最近よく耳にするSDGsとは何でしょうか。また、SDGsが経営と結びつく何が起るのでしょうか。

2016年初頭、日本も参加している国連の持続可能開発目標(SDGs)が鳴り物入りでスタートし、今年で4年目に突入しました。実は、国連が実践している目標は多岐にわたりますが、過去の評価では、日本は常に劣等生でした。SDGsに関しても対応遅れを心配していた関係者は多かったものの、2030年までの達成目標に向け、ここ1～2年で格段と加速がつかしました。各種刊行資料を見ても、製造業から非製造業へ、大企業から中小企業へ、経団連企業から地域企業へと、確実に普及指標が上がっています。株式会社札幌ドームも、非製造・中小・地域企業とすべての遅延要素を持ちながらも、道内企業屈指のスピードで、今や地域企業の実頭を走っています。

2018年11月、中堅社員による「SDGsワークショップ」によりSDGsの戦略的領域が選択され、続く2019年1月、役員「SDGs役員ミーティング」によってその方向推進が着実に確認されています。われわれ読者も確かにその決定現場に立ち会い、企業内部の情熱の広がりを感じ取っています。これがSDGs経営の最初の一步、火付けのプロセスです。さて、この第一段階を終えたら、次に何をすればよいのでしょうか。

世界を変えるために必要なこと

SDGs(持続可能開発目標)は、別名「世界を変えるための17の目標」と呼ばれています。変革の対象は社内だけではなく、パートナーやお客さまを巻き込みながら、社会全体の変革を目指すということです。社員からパートナーへ、さらにはお客さまへと、自分たちの選択した価値や情熱を伝えること。その具体的ツールは、対話や事業がメインになります。よって、自分たちの価値や情熱がしっかりと「効果的に」選択され、対話や事業の中に埋め込まれていること。この「効果的かどうか」をチェックするための評価指標は既に開発されており、その指標にあわせながら自分たちの事業を最適化していく。これがSDGs経営の第二段階です。今、株式会社札幌ドームはこの第二段階に入ろうとしているのです。

SDGs経営が目指す社会変革に関して、札幌ドームは他社にない抜群の強さを有しています。累計来場者数4,800万人、年間来場者数280万人のお客さま。札幌ドームメンバーズクラブ会員、みらいシート招待者、展望台見学者等々、社員73人の企業では考えられないほどのお客さまとのコンタクトがあります。たとえわずかでも、このお客さまの一人ひとりの変化が積み上がったとき、札幌から、北海道から、地域社会は変革を起こすでしょう。株式会社札幌ドームは、このような可能性を秘めた企業なのです。そんな日が来ることを、わくわくしながら待ち焦がれています。



北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院・教授

伊藤 直哉 (いとうなおや)

ルーヴァン・カトリック大学(ベルギー)大学院博士課程修了。研究テーマは国際広報・マーケティング論、観光情報学等。社会連携として、北海道CSR研究会の立上げ及び活動を積極的に展開し、企業との連携実績が豊富にある。日本広報学会理事、観光情報学会理事。



株式会社 **札幌ドーム**

〒062-0045 札幌市豊平区羊ケ丘1番地 TEL.011-850-1000(代表) FAX.011-850-1011

発行:2019年6月 ※2019年6月現在の資料をもとに作成しています。内容は変更になる場合があります。

アンケートご協力をお願い



「札幌ドームレポート2019」をお読みいただき、ありがとうございました。
ぜひ、左記QRコードまたは当社ウェブサイトからアクセスしていただき、
本レポートについてのウェブアンケートにご協力いただきますようお願いいたします。
皆さまのご意見やご感想をお待ちしております。